

市政を問う!!

一般質問の要旨

質問者

山口恵子

鈴木明子

宮田伸子

※本文は質問者自身の原稿によるものです

肺炎予防接種

への助成を

◆高齢者の肺炎予防を

問 本市における肺炎の罹患状況はどうか。肺炎球菌予防ワクチンは有効性が高く、予防接種を推進する為には助成が必要ではないか。(山口)

答 肺炎による入院日数は高齢になるほど長くなり、死亡順位は平成23年度に4位から3位となっている。成人用肺炎球菌ワクチンの接種は、県内19市中8市が助成している。国の動向を注視し検討する。

◆療育について

問 必要性をどのように考えているか。あすなる園に専門職配置の要望を。(宮田)

答 幼児期から切れ目ない支援



専門職の配置が求められるあすなる園



希望者の多い未満児保育

援が必要と考える。先日、理事会の中で苦言を呈した。今後も話し合いをしていきたい。

問 保育園で加配保育士をつけた場合、保護者に対して漏れなく説明すべき。(宮田)

◆子ども子育て会議

問 未満児の小規模保育施設設置への考えは。(宮田)

答 ニーズを補完する意味で検討する必要性がある。

空き家活用に

相談窓口を

◆空き家対策と活用

問 適正管理が行われない空き家対策は条例化の中で前進すると思うがどうか。市街化調整区域の空き家の活用に関する



申請が多数寄せられたリフォーム助成窓口

必要がある。手続き等相談窓口が必要と思うが。(鈴木)

答 近隣の住環境や安全対策が必要。条例を制定しても問題解決の困難さはある。国の法整備の動向も注視し、検討している。調整区域の空き家活用で手続き等不安な時は都市計画課建築係へ。地方事務所建築課と調整を図っていく。

◆リフォーム助成継続へ

問 制度により、地域のお金が地域で循環し、経済対策に有効であり、認知度が上がっている。補正予算での対応も行ったが、申請数が多数となっている。近隣では、世帯の3割が制度を活用している事例もある。施策継続が必要と思うが見直しは。(鈴木)

答 9月の補正予算による申請では203件の受付で109件の補助金交付が決定。工事費合計